

障害児持つ親が連帯

武生

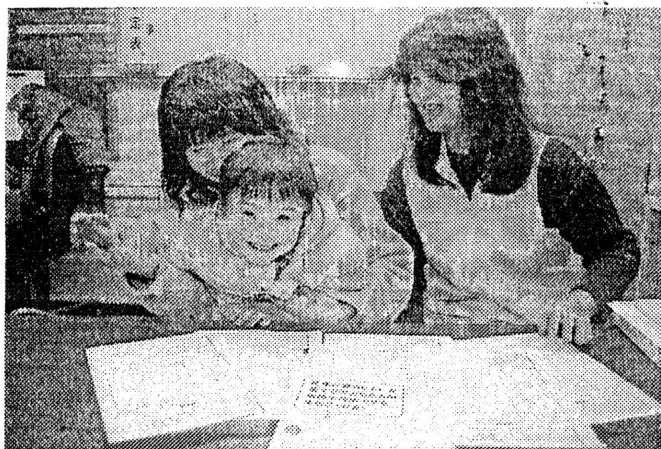
子どもの自立実現へ ネットワーク結成

障害児を持つ武生市内の親のネットワーク「武生に暮らす全ての子どもたちの社会的自立を実現する会」
 田中三紀子代表(39)が今月発足した。障害の性質や加盟団体の枠を乗り越え、広い視点で活動することで、子どもの幸せにつなげようとの趣旨。まず、保育・幼稚園や小中学校への介助員配置など4項目を市に陳情しようと、1万人を目標に署名集めを展開している。

【梅山 崇】

就労場所拡大など陳情へ

「実現する会」の中核と一業保護者の会▽ダウン症候
 なるのは、市障害児通園事一群児親の会▽自閉的傾向を



署名簿をチェックする田中代表(右)と山田さん親子

持つ子の親の会▽言語治療
 教室せせらぎの会▽聴覚障
 害児者及び親の会▽市肢体
 不自由児協会―のメンバ
 ー。市エンゼルプラン改定
 委員を務める田中代表がさ
 まざまな立場の障害児の親
 から意見を聞く機会を設け
 たのがきっかけ。ネット化
 で発言力を高め、組織未加
 盟者も気軽に参加でき、情
 報交換も図れるようにと、
 恒常的な組織にした。

介助員配置以外の陳情項
 目は、市福祉健康センター
 開設(今年4月)に伴い如
 遇が宙に浮いている国高診
 療所の「小児療育センター」
 化▽建設計画中の「南越地
 区養護学校」のソフト面へ
 の参画▽授産施設など就労
 場所の拡大。来月中旬に署
 署名集めには市職員組合

名簿を添えて、三木勅男市
 長らに陳情する。

重度身体障害の長女琴弓
 さん(15)が家族にいる田中
 代表は「小児療育センター
 一つみても、現在の国高診
 療所では月1回の療育相談
 がある程度。常駐の専門医
 がいれば安心して暮らせ
 る。そういった声を集約し
 て伝えないと。年数回の会
 報発行や野外イベントな
 ど、ニーズに応じた活動も
 幅広く展開したい」と意欲
 十分。

メンバーの一人で、ダウ
 ン症の二男敬太ちゃん(5)
 を育てる山田真里子さん
 (36)は「ダウン症児の親だ
 けでは母体が小さく、要望
 もいつも尻すぼみ。さまざ
 まな障害を持つ子の親と連
 帯することで、実効性ある
 ものに」と期待している。

署名集めには市職員組合

が全面協力。市役所内にあ
 る組合事務所で受け付けて
 いる。

小児療育センター(類似
 施設含む)は県内では福井
 市にしかなく、武生市から
 は47人が通所。常駐医はい
 ないものの言語療法や理学
 療法を実施する国高診療所

には、同市内から57人が通
 っている。同市内の職環境
 をみると、身体障害者用で
 は「たけふ福祉工場」、知
 的障害者用では授産施設

「ひまわり作業所」だけ。
 福祉工場は定員40人に対し
 26人が在籍。作業所は30人
 の定員いっぱいという。